

# にわとりの春びなに関する統計

## 発生羽数(全国)停滞みせる 岡山は6%増

農林省統計調査部は6月9日、本年1月から4月まで4か月間の全国のにわとり春びなの生産状況を公表したが、これによると概要はつぎのとおりである。

### 1、発生羽数(全国)

(ア) 37年1月から4月まで4か月間に、人工ふ化によって発生したにわとりのひなは1億4,407万羽であった。月別には3月が最も多く、以下4月、2月、1月の順となっている。

(イ) 月別の全国の発生状況を前年同月のそれと比較すると、1月～3月は上回ったが、4月は大きく前年を下回り、4ヵ月間の合計では前年同期を1.2%下回った。これは34年1月以来毎年、毎月前年を上回っていた初生びなの生産が、4年ぶりに停滞ないし後退に転じたことを示している。

(ウ) 発生内訳では鑑別めすが全体の47.3%、無鑑別が4.2%で従来春びなでは1%程度しかなかった無鑑別ひなの増加がいちじるしい。また鑑別めすびなの

発生は昨年同期を4.1%下回っている。

肥育用ひなの出荷羽数は1,722万羽で、発生ひな総数の12%であった。

### 2、岡山県を中心とした概況

(ア) 37年1月～4月の岡山県ひな総発生羽数は、1,035万羽で、前年同期にくらべ106.5%であった。これは全国の総発生羽数の7.2%にあたり、愛知・岐阜県に次いで第3位を占めている。また全国の減少傾向にあるのに反して、本県では増勢を続けている。

(イ) 岡山県のめすびな発生羽数は476万羽、前年同期比103.0%であった。無鑑別ひなの発生は68万羽で、発生総羽数に占める割合は本県の場合やや高く6.6%に当る。

(ウ) 肥育用ひなの出荷羽数も161万羽でその割合はやや高く、総羽数の15.6%で、これは全国の肥育用総数の9.4%に当る。

1 発生羽数(全国)

(単位:1,000羽)

	37年1月	2月	3月	4月	1～4月計	割合(%)
鑑別めす	7,907.8	15,967.9	24,748.4	19,524.6	68,143.7	47.3
鑑別しないもの	8,067.4	16,404.5	25,394.4	20,020.0	69,886.3	48.5
計	15,970.2	32,372.4	50,142.8	39,544.6	138,030.0	95.8
鑑別しないもの	1,351.1	1,389.6	1,696.3	1,600.3	6,037.3	4.2
合計	17,321.3	33,762.0	51,839.1	41,144.9	144,067.3	100.0
対前年比(%)	108.0	106.1	104.3	85.3	98.8	---
1～4月を100とした割合(%)	12.0	23.4	36.0	28.6	100.0	---

2 鑑別めす発生羽数

(単位:100羽)

	37年1月	2月	3月	4月	計	対前年比(%)	順位
全国	79,028	159,679	247,484	195,246	681,437	95.9	
岡山	5,424	11,137	16,448	14,657	47,666	103.0	第3位
愛知	19,466	26,391	35,219	28,017	109,093	95.0	1
岐阜	11,773	17,091	22,698	19,085	70,647	112.0	2

3 肥育用ひな出荷羽数

(単位:100羽)

	37年1月	2月	3月	4月	計	順位
全国	39,281	42,133	46,327	44,503	172,244	
岡山	3,666	3,762	4,148	4,569	16,145	第3位
愛知	10,724	8,464	7,753	7,473	34,414	1
岐阜	8,597	9,403	9,677	9,403	37,080	2

# 県下最近の豚の生産異動状況

—増加ようやく頭打ちへ—

(農林省岡山統計調査事務所 6月27日発表から)

5月1日現在の県下の豚飼養頭数は37,100頭で、前年同月(36年5月)に比べ64%増した37年2月に対しては6%増しと引続き増加している。しかし増加傾向は前年に比べかなり鈍化している。

過去3か月間(2月~4月)の子豚生産頭数は2万2,500頭で、近年最高であった昨年11月~本年1月の3ヵ月間の生産頭数をさらに6,300頭上回った。これらの増加に対して減少頭数では、昨年夏から秋

にかけて生産された子豚が出荷適令期となり、肉用としての売却頭数が1万4,200頭に達した。そのため飼養頭数の伸びは本年2月に比べ5月は2,100頭に止まった。

また年初来からの豚価の軟調から仔取用めす頭数は大量に減少しており、5月以降の仔豚生産も大巾に減少すると考えられるところから、飼養頭数は保合いまたは減少の傾向を示すものと思われる

第1表 豚の飼養頭数

	37年5月	37年2月	36年5月	本年2月 対比	前年5月 対比
総頭数	37,100	35,000	22,600	106%	164%
6ヵ月未満	25,800	24,400	15,200	106%	170%
6ヵ月以上 { 総数	11,300	10,600	7,400	107%	153%
以上 { うち仔取用めす	4,600	5,600	3,500	82%	132%

第2表 3ヵ月間(37年2月~4月)生産異動頭数

増		減				少		差引増加
生産	計	肉用売却	ほ乳中死亡	その他の死亡と殺	県外もと豚売却	計		
22,400	22,400	14,200	4,300	1,000	800	20,300	2,100	